

2026 年 5 月 15 日作成

《情報公開文書》

転移性脳腫瘍術後に対する放射線治療の成績

研究の概要

【背景】

脳に転移したがん(脳転移)は、がん患者さんの 20~40%に発生するとされており、治療上重要な問題となります。脳転移に対しては、腫瘍が大きい場合や症状がある場合、外科手術で腫瘍を取り除くことが行われます。しかし、手術だけでは半数以上の患者さんで取った場所に再発が起きてしまうため、手術後に放射線治療を追加することが推奨されています。

【目的】

当院では脳転移の手術後の放射線治療として、35 グレイを 10 回に分けて照射する方法を行っています。本研究では、当院でこの治療を受けた患者さんの治療成績を明らかにし、他施設の報告と比較することで、この治療法が安全で効果的な治療の一つであることを評価します。

【意義】治療成績の評価と再発に関わる要因の解析により、今後どのような患者さんにこの局所的な放射線治療が適しているか、また全脳照射を考慮すべきかを判断するための材料を提供できる可能性があり、今後の脳転移治療の個別化に貢献することが期待されます。

【方法】当院で脳転移の手術後に 35 グレイ/10 回の放射線治療を受けた患者さんを対象に、診療録から治療や経過に関する情報を集めて、後ろ向きに(治療済みの情報を遡って)解析します。

対象となる患者さん

2016 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の期間に、長崎大学病院で転移性脳腫瘍(脳に転移したがん)の手術を受けた後、35 グレイ/10 回の放射線治療を施行された患者さんが対象となります。

研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者背景:年齢、性別、全身状態の指標、原発のがんの種類、原発のがんの状態、他の臓器への転移の状況
- ・脳転移の情報:転移の個数、転移した場所
- ・画像検査(造影 MRI、治療計画 CT):病変の位置、手術部位の状態、治療経過の評価
- ・放射線治療の情報:治療開始日・終了日、線量(35 グレイ/10 回)、照射範囲、治療技術、併用したがん治療、手術から放射線治療までの期間
- ・経過観察の情報:外来診察記録、定期 MRI 所見、治療経過、追加治療の内容
- ・有害事象に関する情報
- ・治療経過、術後経過に関する情報

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 8 月 14 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2028 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 放射線科
	氏名：宮崎 修平
情報の管理責任者	住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
	電話：095（819）7354
長崎大学病院 病院長	

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 放射線科 担当:宮崎 修平
〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号
電話：095（819）7354

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200
受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）